

進路だより

いわき翠の杜高等学校 進路指導部
令和2年 第1号

学校再開に向けて

新型コロナウイルスの影響で、約1ヶ月の休校期間でした。再開後も、これまでにない注意を払いながらの生活が続きます。進路関係でも、行事の中止や延期など影響を受けています。また、予定されていたオープンキャンパスの延期・見送りや、年度初めの企業訪問の一部延期と、上級学校や企業でも、今後の対応に苦慮している様子がうかがえます。

少しずつ日常の生活に戻りつつありますが、昨年までとは大きな状況の変化が予想されます。進学では、各学校の入試スケジュールについて不透明なところが多くあります。就職は例年通りのスケジュールで採用活動が行われるようですが、求人について影響を受ける恐れがある業種・職種があります。卒業予定の生徒は、今まで以上の緊張感で、進路決定に向けた準備を進めましょう。この影響は、次年度以降に及ぶことも考えられます。1・2年生も、学校生活を大切に、学業をはじめとする力を十分に伸ばしていきましょう。

生活調査・進路希望調査の結果について

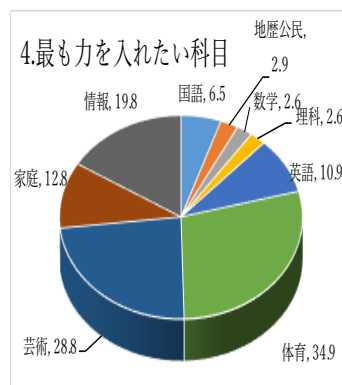
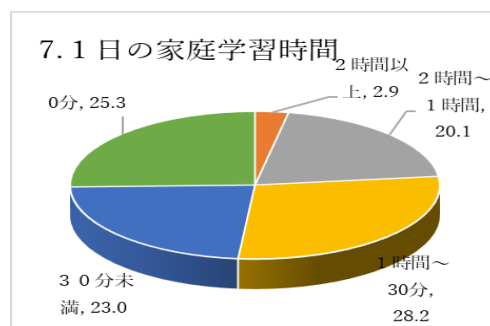
4月13、14日に全校生を対象に、生活基礎調査及び進路希望調査を実施しました。結果について一部報告します(回答数155名 回答率97%)。

生活基礎調査から

【学習について】

「好きな教科」は、「体育」「国語」「数学」の順に多くなりました。一方、「苦手な教科」では、「数学」「英語」に多くの生徒が苦手意識を持っているようです。ただ、「最も力を入れたい教科」として、この二教科を挙げた生徒が多く、苦手科目を克服したいと考えている様子もうかがえます。また、徐々にですが、学年が進むにつれてこの二教科を苦手教科として挙げる割合は低くなる傾向にあります。

「漢字の読み書き」「掛け算割り算」について、半数近くの生徒が、自信がないと回答しています。これは、就職試験はもちろん、社会でも必要となる基礎的な学力です。毎日の授業や家庭学習で克服できるよう努力しましょう。卒業学年の生徒は、就職や進学を控えています。授業に加え、「進路対策講座」などの具体的な入試対策を積極的に進めてください。



【生活習慣について】

「11. 就寝時刻」は、0時以降の割合が過半数を占めました。午後11時以降の割合を加えると、全体の約80%です。アルバイトをしている生徒は25%程度なので、大半の生徒が放課後は家庭で時間を過ごしていると思われます。

「7. 家庭学習時間」についての回答では、「30分未満」の割合が依然として多く、ほとんど家庭学習時間を確保していない人が30%見られます。一方、1時間以上の学習時間を確保している人は昨年より増加しており、取り組みが二極化しているとも言えます。

「10. 最も興味を持っていること」について、「インターネット」「スマートフォン」「ゲーム」と回答した割合は今年も多くなりました。

時間の使い方のメリハリや、その質を見直し、改善する必要のある人がいそうです。

【対人関係について】

「友人がいるか」という質問に、90%以上の生徒が「いる」と回答しており、同年代の間でつながりを持つことは概ねできているようです。また、「他人と協力して仕事をすることができるか」には、「できる(32%)」「少しできる(49.7%)」と答えた割合が高く、他者との協力姿勢について良好な回答が見られました。ただ、「自分の考えを他人に伝えることができるか」については、「全くできない」「あまりできない」と回答した割合が約40%と多くなっています。学校生活はもちろんですが、コミュニケーションを上手にとることは、仕事を始めとする社会生活を送るうえで大切な力になります。高校生の間に、他者の考えや意見を正しく理解し、自分の考えをきちんと伝えられるよう心がけ、先生や友達と良い関係を築いてください。

進路希望調査から

進路希望調査によると、生徒の半数以上が就職、約40%が進学を希望しています。卒業予定者は、希望する職種や学部学科を絞り、担任や就職支援教員と相談しながら、具体的な受験先を検討する段階に入っています。

1、2年生はまだ漠然とした回答が目立ちます。早めに自分の将来像を明確にしましょう。夢や憧れを現実にするために必要な取り組みを考え、行動に移してください。また、担任に相談して適切なアドバイスを得る必要があります。家庭では、合いを進め、費用面をはじめとする後押しが必要です。進路実現には、自分の努力と、周りの協力が必要だということを覚えておきましょう。

